



# 白島小学校だより

Web ページ <http://www.hakushima-e.edu.city.hiroshima.jp/>

平成 17 年度  
アンケート臨時号  
H18, 2, 20

## 本校の取り組みに関するアンケート結果のお知らせ

よりよい学校にしていくため保護者と学校が一緒になって取り組んでいけるよう、本校における教育活動の望ましい方向性を探るため、今年度のアンケート調査を保護者や地域の皆様、児童を対象に実施させていただきました。保護者アンケートは80%の回収率でしたが、本校教育への熱い願いや望みをしっかりといただくことができました。また、本校児童のよさや、これから伸ばしていかなければならない点や実態をつかむこともできました。これらは、来年度の指導に役立てていけるよう、引き続き努力したいと思っております。

以下、分析の一端を紹介いたしますので、ご家庭での指導の参考にしてください  
ればと思います。ご協力ありがとうございました。

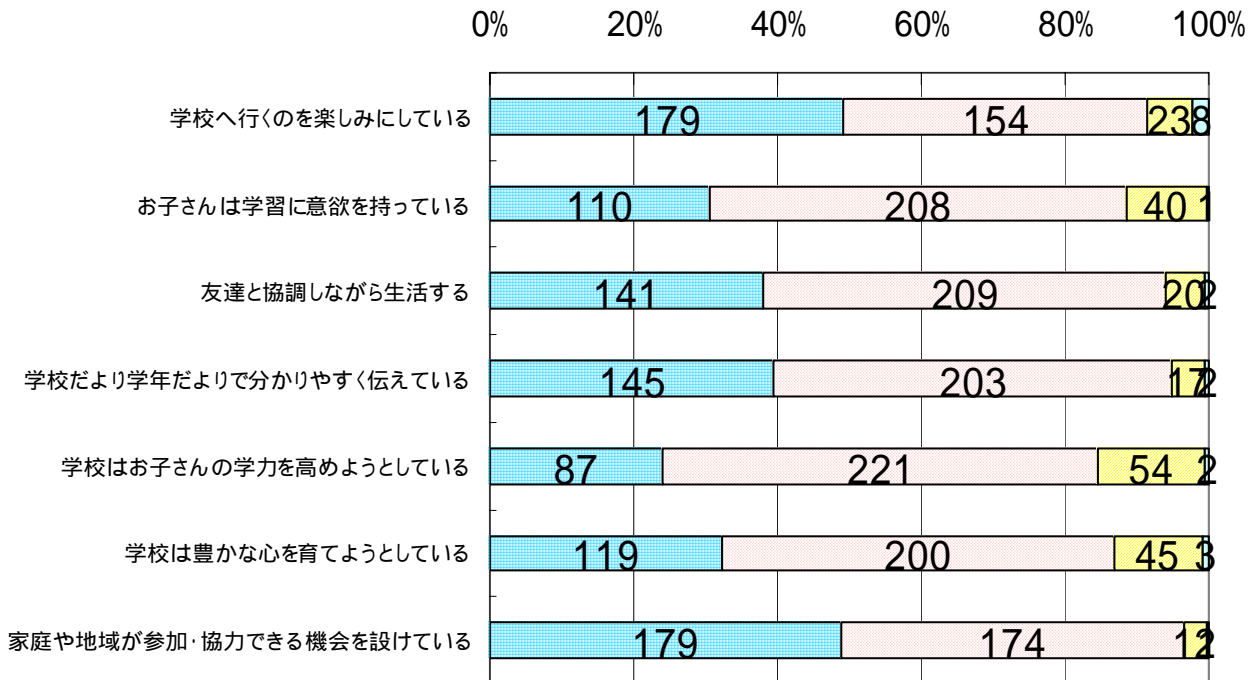


### 1 アンケートの結果

学校は、児童の学力向上をめざし、日々努力しています。

学校の取り組みに関する保護者アンケートの結果

H17.12.1 広島市立白島小学校  
配布454名中364名回収 回収率  
80%



■ 当てはまる □ やや当てはまる ■ あまり当てはまらない □ 全く当てはまらない

## 2 アンケートの考察

「お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている」について

昨年度同様、学校が楽しいと感じている児童が大多数を占めています。「今日が楽しく、明日が待ち遠しい」学校づくりをめざし、引き続き取り組んでいきたいと思えます。元気に遊び、心と体を鍛える外遊びを増やしたいという思いで、12月から45分間のロング昼休憩を設定しました。また、長縄チャレンジ週間、おいしい給食の事を知る給食週間等様々な取り組みをしています。

「お子さんは、学校での学習に意欲をもっている」について

学習意欲をもっていることは、学力を身に付ける上でも重要な要素です。おかげさまで本校の多くの児童が学習に意欲をもっているようです。児童アンケートからも約8割の児童が「学校は楽しく、勉強することが楽しい」と答えています。さらに、学力向上のため、学校では学習環境を整え、授業の導入の工夫、個に応じた指導等、わかる授業の創造に努めていきたいと思えます。ご家庭でも、引き続き児童が学習に集中して取り組むことができるよう早寝、早起き等基本的な生活習慣づくりにご協力をお願いいたします。**生活の基盤づくりが、児童の学力向上につながります。**

「お子さんは、友だちと協調しながら生活する」について

学習面でも生活面でも友だちと協調しながら心豊かに学校生活を送れるよう、日々の児童の言動に目配り心配りをし、きめ細やかな指導に努めています。今後も引き続き、仲間意識を向上させるような活動を計画していきたいと思えます。学校・家庭が一体となって**相手を思いやる気持ち**を育みたいものです。

「学習・生活の様子を学校だよりや学年だよりなどでわかりやすく伝えている」について

正門前の掲示板で学校の情報を広く地域に発信しています。ホームページでは、学校日記を毎日発信しています。ご覧いただきましたでしょうか。学校からの便りには、学校とご家庭の連携を必要とすることがたくさん載っております。校長室だより、子ども俳句だよりも始まりました。引き続き、目を通していただきますようお願い申し上げます。

「学校は、学力を高めようと努力している」について

「自分の思いや考えを自信をもって表現できる子にしたい」「読み取る力をつけたい」「語彙力や表現力不足からのトラブルを起こさなくてもいいように」などの願いから、本年度、特に国語科「読む」ことに力を入れました。児童につけたい力を「読むことを通して、自分の考えをしっかりと表現する」と焦点化し取り組みました。

**音読・朗読に力を入れました。**国語の授業の中で継続的に、詩の音読・暗唱・群読などを取り入れ、児童が意欲をもって学習できるよう工夫しました。敬老会では、1年生がステージで物語の劇と群読を大きな声で披露し、学んだことを生かすことができました。6年生も学習したことを基本にして、広島城子ども観光大使として、校内、中国新聞社ホールや広島城内で「おもてなし」の心を持ち、明るく、元気に、大きな声で案内役を立派に成し遂げました。

**ことばの力を育むため、聞く、読む、書く、話す、考える、感じる、表すことに力を入れました。**2年生は、順序よく読み取ったり、順序を考えて話したりする学習後、1年生におもちゃの作り方、遊び方をわかりやすく話す学習をしました。3年生は、わかったことや思ったことを自分なりにまとめる力をつけました。白島の町に出て、インタビューしたり、聞きたいことを尋ねたりすることができました。5年生は、自分の考えをはっきりさせ、感想をもちながら聞いたり話したりする学習を繰り返しました。4年生は、友だちの考えと比べながら聞いたり、発表したりする力をつけてきました。これまでの10年間を振り返り成長を確認し合い、自信をもってこれから歩いていく1/2成人式を行います。様々な場面に応じて、相手に伝える力は、生きてはたらく確かな学力です。

**読書に親しむことができる環境づくり、読み聞かせ、お話会など本を手渡す機会づくり**をしています。学級文庫の回覧をしたり、季節に応じた図書室の温かい環境づくりや踊り場で本の紹介をしたりなど、図書館ボランティアの方々の力もお借りしながら、読書が好きになってくれるよう工夫しています。

**あいさつはコミュニケーションの第一歩です。自分からあいさつをする児童が増えています。**朝のあいさつから、友だちとかわす言葉まで一つ一つの言葉を大切にしながら、目には見え



ない生きる力となる学力も大切にしています。

「学校は、豊かな心を育てようと努力している」について

心豊かな児童の育成のため、学校では、植物を育てたり、命あるものに接したりする機会を多く設けています。読書指導や道徳指導の充実の他、日々の小さな出来事にも目を配り、きめ細やかな指導を引き続きしていきたいと思えます。ご家庭でも、植物を育てたり、お子さんとの会話を大切にしたりして、学校と家庭と一緒に豊かな心を育てていきましょう。一緒に町を歩く時は、社会のルール、マナーにふれたり、町内の清掃活動に参加してみたりすることもよい機会です。

「学校は、家庭や地域が参加・協力できる機会を設けている」について

参観日等を含め、保護者・地域の人々が気軽に教育活動に参加できるような開かれた学校をめざしています。毎月第3土曜日には、今年で3年目を迎える三世代ふれあい活動を予定しております。本年度は、木工教室や楽焼き教室など11回実施しました。来年度は、お誘い合わせの上ご参加ください。

### 3 まとめ

多くの方のアンケートへのご協力ありがとうございました。学校は保護者の皆様からの声に耳を傾けながら、日々、児童の指導に努力しております。しかしながら、学校教育は、児童の育つ基盤である家庭の上に成り立っていることが多くあります。児童を育てていくためには、やはりご家庭の協力が欠かせません。児童にさらに力を付けていくために、学校・家庭・地域みんなの力で育てていきたいと考えております。

なお、校長室では、保護者の方が気軽に相談できるようにお待ちしております。いつでもお立ち寄りください。

お子さんは、学校へ行くのを楽しみにしている

お子さんは、学校での学習に意欲をもっている

お子さんは、友だちと協調しながら生活する

学習・生活の様子を学校だよりや学年だよりなどで

わかりやすく伝えている

学校は、学力を高めようと努力している

学校は、豊かな心を育てようと努力している

学校は、家庭や地域が参加・協力できる機会を

設けている 裏に続きます。

## 2 アンケートの考察

「学校は、学力を高めようと努力している。」について  
「自分の思いや考えを自信をもって表現できる子にしたい」「読み取る力をつけてやりたい」「音読や表現力不足からのトラブルを起こさなくてもいいように」などの思いから、今年度、本校では特に、国語科「読む」ことの取り組みに力を入れてきました。児童につけたい力を「読むことを通して、自分の考えをしっかりと表現する」と焦点化しました。



**音読・朗読に力を入れました。**国語の授業の中で継続的に、詩の音読・暗唱・群読などを取り入れ、児童が意欲をもって学習できるよう工夫しました。敬老会では、1年生がステージで物語の劇と群読を大きな声で披露し、学んだことを生かすことができました。6年生も学習したことを十分生かし、広島城子ども観光大使として、校内、中国新聞社ホールや広島城内でも「おもてなし」の心を持ち、明るく、元気で、大きな声で案内役を立派に成し遂げました。

**ことばの力を育むため、聞く、書く、話す、考える、感じる、表すことに力を入れています。**2年生は、おもちゃ広場を開き、1年生におもちゃの作り方、遊び方をいねいに、わかりやすく話していました。3年生は、白島の町に出て、お店の人にインタビューしたり、工夫していることなど聞きたいことを上手に尋ねたりしていました。5年生は、自分の思いや考えを確認するため、派出所で尋ねたり、地域の環境保護に力を入れている方を訪ねたりしながら、学習を深めました。4年生は、これまでの10年間を振り返り成長を確認し合い、自信をもってこれから歩いていく1/2成人式という場を設定しました。様々な場面に応じて、相手に伝える力は、生きてはたらく確かな学力です。

**授業の中で、物語文・説明文など付けたい力を明確にした授業づくりに力を入れています。**各学年授業を見せ合いながら、個人差に応じた指導方法についてグループ学習も取り入れながら研究を重ねています。

**読書に親しむことができる環境づくり、読み聞かせ、お話会など本を手渡す機会づくりをしています。**学級文庫の回覧をしたり、図書室の季節に応じた温かい環境づくりや踊り場の本の紹介をしたり、図書館ボランティアの方々のお力をお借りしています。

**あいさつはコミュニケーションの第一歩です。自分からあいさつをする児童が増えています。**朝のあいさつから、友だちとかわす言葉まで一つ一つの言葉を大切にしながら、目には見えない生きる力となる学力も大切にしています。



今後とも引き続き、ご家庭、地域と協力して児童が喜んで学校に来るような温かい  
雰囲気づくり、個々の児童に生きてはたらく学力づくりに努めていきたいと考えております。

「お子さんは、学校での学習や活動に意欲をもっている」について

児童のアンケートから、学校で友だちと活動したり学習したりすることが楽しく、勉強することが楽しいと答えた児童が大多数でした。学習や活動に意欲をもっているかは、学習の時間が多くを占める学校において、児童の日常生活には重要な問題です。さらに、学力向上のため、学校では学習環境を整え、授業の導入の工夫、個に応じた指導等、わかる授業の創造に向け努めていきたいと思っております。ご家庭でも、児童が学習に集中して取り組むことができるよう早寝、早起きなど基本的な生活習慣の確立にご協力をお願いいたします。生活の基盤作りが、児童の学力向上につながります。また、ご家庭での親子の会話は、心の栄養となり、安心して力を発揮できる意欲の源となります。

「校庭・運動場でよく遊ぶ」子どもに育っているかについて

学校は児童のたくましい体づくりを願っています。残念なことに児童のアンケートから運動場・校庭でよく遊ぶと答えた児童は約7割でした。元気に遊び、心と体を鍛える外遊びを増やしたいという思いから12月に45分間の昼休憩を設定しました。また、長縄チャレンジ週間や体育授業の充実にも取り組んでいます。一人でも多くの児童がたくましく育ってくれることを願っております。

学校・家庭・地域みんなの力で育っています。

参観日を含め、保護者・地域の人々が気軽に教育活動に参加できるような開かれた学校づくりを仕組んでいます。毎月第3土曜日には、今年で3年目を迎える三世代ふれあい活動を予定しております。今年度は、木工教室や染焼き教室など10回を予定しておりますので、お誘い合わせの上、ご参加ください。なお、校長室では、保護者の方が気軽に相談できるようにお待ちしております。いつでもお立ち寄りください。